

秋播きコムギ後の線虫・土壌病害対策

根菜類の線虫対策、豆類の前作に

規 格
20kg/袋

【アウエナストリゴサ (エンバク野生種)】 品種 ハイオーツ



特 性

- ダイコン、ニンジン、ゴボウなどの根物野菜類で問題となるキタネグサレセンチュウを減らす
- ジャガイモそうか病、アスキ落葉病、コムギ縞萎縮病による被害を軽減!
- アブラナ科野菜根こぶ病のおとり作物として利用
- 栽培が容易で、すき込みにより土壌をフカフカに

栽培方法

- 播種期：4月下旬～6月中旬（春播き）
7月下旬～8月中旬（夏播き）
8月下旬～9月上旬（野菜類の後作など）
- 播種量：10～15kg/10a（線虫対策には15kg、9月播種は20kg）
- 播種方法：散播
- 施肥量：N：5、P：5、K：0～5kg/10a
- すき込み期：7月上旬～8月中旬、10月中旬～下旬

栽培上の注意

- 播種後は覆土と鎮圧をしてください

生物的くん蒸作物

【カラシナ】 品種 辛神 **PVP** 海外持出禁止 (農林水産大臣公示有) 規 格 1kg×20袋入



特 性

- 辛み成分を高含有する品種
- テンサイ根腐病やコムギ立枯病、ホウレンソウ萎凋病などの土壌病害の被害軽減に

栽培方法

- 播種期：露地 5月、8月（夏播きはできるだけ早めに）
ハウス 2～4月、8月
- 播種量：1.0～1.5kg/10a（コート種子）
- すき込み期：着蕾～開花始の莖葉部の多い時期

ジャガイモシストセンチュウ対抗植物

【ソナムペルウィアナム (トマト野生種)】 品種 ポテモン **PVP** 海外持出禁止 (農林水産大臣公示有) 規 格 1kg×20袋入



特 性

- ジャガイモシストセンチュウの寄主となり、栽培期間中に線虫密度を減らす対抗植物
- 春播きの方が生育は良好で、線虫密度低減効果が高い

栽培方法

- 播種期：6月中旬～7月上旬（遅霜を避ける）
8月上旬（夏播きは出来るだけ早めに）
- 播種量：0.7～1.0kg/10a
- すき込み期：播種60～80日後

キタネグサレセンチュウ対抗植物

【ライムギ】 R-007 (品種 ウィーラー) 規 格 20kg/袋



特 性

- 従来のライムギと比べて、越冬利用でキタネグサレセンチュウを減らす
- 越冬利用で早春の土壌流亡を抑制
- 9月播きであればエンバクよりも生育が旺盛

栽培方法

- 播種期：年内利用：8月下旬～9月上旬
越冬利用：9月中旬～下旬
- 播種量：10～15kg/10a（線虫対策には15kg/10a）
- すき込み期：10月～11月（年内利用）、翌年5月～6月（越冬利用）

ダイズシストセンチュウ対抗植物

【クリムゾン】 品種 くれない 規 格 500g×40袋入



特 性

- ダイズやアズキに被害をもたらすダイズシストセンチュウ対抗植物
- 春播きで開花し景観緑肥としても適する
- 根粒菌による窒素固定で地力増進におすすめ

栽培方法

- 播種期：4月下旬～6月中旬
7月下旬～8月上旬（線虫対策は早期播種がポイント）
- 播種量：2～3kg/10a
- すき込み期：7月～8月、10月

その他の緑肥作物

【 シロガラシ 】 キカラシ (品種 メテックス)

 規 格
1kg×20袋入


- 景観美化 ↑
- 有機物補給 ↑
- テンサイの前作に適する (収量性を改善)
- 鮮やかな黄色い花が咲き、景観緑肥として適する
- 発芽と初期生育が良好
- 播種量: 2~3kg/10a

【 ハゼリソウ 】 品種 アンジェリア

 規 格
1kg×20袋入


- 景観美化 ↑
- 有機物補給 ↑
- 生育旺盛で、雑草や表土の土壌流出防止に適する
- 花はやさしい紫色
- 春播きでハイオーツ並みに多収
- 播種量: 2~3kg/10a 注意事項: 種子が小さいので、丁寧に播種してください

【 アカクローバ 】 品種 メジウム

 規 格
1kg×20袋入


- 線虫対策 ↓
- チッソ減肥 ↓
- 遊休地の地力対策や秋播きコムギ、ソバの間作に
- ダイズシストセンチュウ対抗植物
- 根粒菌による窒素固定で地力増進におすすめ
- 播種量: 2~3kg/10a
- コムギ間作利用は3~4kg/10a、ソバ間作利用は3kg/10a

【 ヒマワリ 】 NS クルナ (品種 NS Kruna)

 規 格
500g×20袋入


- 景観美化 ↑
- 有機物補給 ↑
- 春播きでは開花し景観緑肥として利用できる
- 草姿が大柄なため有機物補給としても利用可能
- 播種量: 0.5kg/10a (条播)、1.0kg/10a (散播)
- 注意事項: 必ず覆土と鎮圧をしてください、結実しやすいので開花期から10日程度ですき込んでください

【 スーダン グラス 】 ねまへらそう (品種 スーパーダン2)

 規 格
1kg×20袋入


- ドリフト防止 ↓
- 線虫対策 ↓
- キタネグサレセンチュウを減らす
- コムギ前作の有機物補給に
- 夏場のドリフト対策の障壁作物として利用可
- 播種量: 5kg/10a 注意事項: 必ず覆土と鎮圧をしてください

【 ソルガム 】 つちたろう (品種 ジャンボ)

 規 格
1kg×20袋入


- ドリフト防止 ↓
- 線虫対策 ↓
- 施設ハウスのトマト・キュウリの大敵である サツマイモネコブセンチュウを撃退
- 無施肥栽培で、ハウスのクリーニングクロープにも
- 夏場のドリフト対策の障壁作物として利用可
- 播種量: 5kg/10a

【 エンバク 】 品種 とちゆたか

 規 格
22.5kg/袋


- ドリフト防止 ↓
- 耐倒伏性に優れる直立性エンバク
- 春から初夏のドリフト対策の障壁作物としても利用可
- 播種量: 10~15kg/10a
- 農薬のドリフト対策の利用は5~8kg/10a

【 エンバク 】 品種 スナイパー

PVP
海外持出禁止
(農林水産大臣公示有)

 規 格
1kg×20袋入


- 有機物補給 ↑
- 線虫対策 ↓
- エンバク品種スワンよりもさらに早生タイプのエンバク
- ハウス栽培後や春先の有機物補給に
- ハウスは残肥を利用
- 播種量: 10kg/10a

【ヘアリーベッチ】まめ助 (品種 ナモイ)

規 格
1kg×20袋入



- 夏播きで多収なマメ科緑肥
 - 根粒菌による窒素固定で地力増進におすすめ
 - 初期の雑草抑制や表土の土壤流亡対策に
- 播種量：5kg/10a

【ヘアリーベッチ】藤えもん (品種 マッサ)

規 格
1kg×20袋入



- 耐湿性と低温伸長性に優れる
 - 根粒菌による窒素固定で地力増進におすすめ
- 播種量：4~5kg/10a
注意事項：越冬する場合もあるのでしっかりとすき込んでください

科 名	種類	品種 <small>※品種名と商品名が異なる品目は、品種名を()書きで記載しております。</small>	播種量 (kg/10a)	施肥量の目安 4) N : P : K (kg/10a)	減肥の目安 N : K (kg/10a)	炭素率 (C/N比)	播種期 (月・旬)	すき込み期 (月・旬)
イネ科	アウエナストリゴサ (エンバク野生種)	ハイオーツ	10-15	5 : 5 : 0-5	0-4 : 0-4	15-30	4下~6中 7下~9上	7上~8中 10中~下
	エンバク	スナイパー ^{PVP} 3)	10	4-6 : 5-10 : 0-5	0-4 : 0-4	15-30	露地 8下~9上 二重/加温ハウス 11月	10月 翌年3月
		とちゆたか	後作・休閒 10-15 間作 5-8	4-6 : 5-10 : 0-5	0-4 : 0-4	15-30	4下~6中 7下~8中	播種後2か月前後 出穂前後を目安
		スワン	15-20	4-6 : 5-10 : 0-5	0-4 : 0-4	15-30	7下~8中	10中~下
	ライムギ	R-007 (品種 ウィーラー)	10-15	4-6 : 5-10 : 0-6	2-3 : 0-5	15-20	年内 8下~9上 越冬 9中~下	10~11月 5~6月 (出穂前後を目安)
	スーダングラス	ねまへらそう (品種 スーパーダン2)	5	6-10 : 6-10 : 0-10	0-4 : 0-8	20-30	露地 6~7月 ハウス 5~8月	8~9月 7~10月
	ソルガム	つちたろう (品種 ジャンボ)	露地	5	8-10 : 8-12 : 0-10	0 : 0-8	30-45	露地 6~7月
ハウス			3-8 : 3-8 : 0-8		0-4 : 0-6	20-40	ハウス 5~8月	7~10月
トウモロコシ	SH9599	8,000粒/10a程度	8-12 : 12-16 : 0-12	0 : 0-10	30-35	5~6月	9~10月	
イネ科 マメ科	エンバク ヘアリーベッチ	混播セット まめゆたか	休閒 8 後作	4-8 : 6-8 : 0-8 3-6 : 6-8 : 0-6	0-4 : 0-6 2-4 : 0-5	20-30 15-25	5上~6中 7下~8下	7中~8中 10中~下
		マメ科	まめ助 (品種 ナモイ)	5	2-5 : 5 : 0-5	3-5 : 0-4	10-15	5上~6中 7下~8中
藤えもん (品種 マッサ)	4-5		2-5 : 5 : 0-5	3-5 : 0-4	10-15	5上~6中 7下~8中	7中~8中 10中~下	
寒太郎 (品種 サバン)	5		2-5 : 5 : 0-5	3-5 : 0-4	10-15	5上~6中 9月	7中~8中 翌年4~7月	
マメ科	クリムソンクローバ	くれない	2-3	3-4 : 8-12 : 0-6	2-4 : 0-5	15-20	4下~6中 7下~8上	7~8月 10月
	アカクローバ	メジウム	休閒 2-3	2-4 : 8-12 : 0-5	5-6 : 0-4	11-15	5~6月	9~10月
コムギ間作 3-4			0-2 : 0-5 : 0	2-4 : 0	10-13	4月 (出来るだけ早く)	9~10月	
アブラナ科	カラシナ	辛神 ^{PVP} 2) 3)	休閒 1.0-1.5	8-10 : 5-10 : 0-7	1-3 : 0-6	15-20	露地 5月	6下~7上
			後作		2-4 : 0-6		12-20	ハウス 2~4月
	シロガラシ	キカラシ (品種 メテックス) 2)	休閒 2-3 後作	5-8 : 5-10 : 0-7	2-5 : 0-6 4-6 : 0-6	15-25 12-20	4下~6中 7下~8下	6下~7下 10月
ハゼリソウ科	ハゼリソウ	アンジェリア	2-3		5 : 5 : 0-5	0-4 : 0-4	15-25	5~6月
ナス科	ソラヌムベル ウィアヌム (トマト野生種)	ポテモン ^{PVP} 3)	0.7-1.0	8-10 : 8-10 : 0-10	0-4 : 0-8	10-15	6中~7上 8上	播種後 60~80日を目安
キク科	ヒマワリ	NSクルナ (品種 NS Kruna)	条播 0.5	休閒 6-8 : 8-10 : 0-10	0 : 0-8	20-40	5中~7上 7中~8中	開花期から10日程 度未開花の場合は 10月中
			散播 1.0	後作 4-6 : 8-10 : 0-10	2-4 : 0-8	15-20		

◎：おすすめ ○：適する 後作物の無印は普通とする。

1) サツマイモネコブセンチュウの系統によっては抵抗性を示さないものがあります。

【ヘアリーベッチ】寒太郎 (品種 サバン)

規 格
1kg×20袋入



- 越冬性と耐湿性に優れる
- 晩生で生育期間が長く、長期にわたり雑草抑制効果が期待できる
- 根粒菌による窒素固定で地力増進におすすめ

○ 播種量：5kg/10a

まめゆたか ヘアリーベッチとエンバクの混播セット

規 格
まめ助 10kg
品種 とちゆたか 6kg



- 8月下旬でも播種が可能な混播セット
- 直立性の品種とちゆたかにまめ助が絡まることで草姿が立性に

○ 播種量：まめ助5kg・品種とちゆたか3kg/10a

特 性	線虫抑制				緑肥作物の効果							後作物				利用体系							
	キタネグサレ	キタネグコフ	ダイズシスト	1) サツマイモネコフ 2) ジャガイモシスト	有機物の補給	空中窒素の固定	菌根菌の増殖	透水性の改善	塩類除去	土壌保全	防風・隔離作物	景観美化	テンサイ	ジャガイモ	マメ類	コムギ	園芸作物	休閒	短期休閒	後作	間作	越冬	ハウス
初期生育旺盛、細葉・多葉で多収。 キタネグサレセンチュウ対抗植物。 センチュウ対策は15kg/10a、9月播きは20kg/10a。	◎	◎			◎		◎	○	○	◎			○	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎			○
エンバク「品種スワン」より早生のエンバク。 ハウス栽培後や春先の有機物補給に。 ハウスは残肥を利用。一重ハウスにて栽培する場合は 8月下旬～9月上旬に播種。		◎			○		○	○		○						○			○	◎			◎
耐病・耐倒伏性に優れる直立性のエンバク。 園芸作物や早春の防風作物に適する。 ドリフトガードクロープとして利用できる。		◎			○		○	○		○	◎							◎	○				
早生エンバク。		◎			○		○	○		○								○	◎				
タマネギの後作緑肥に適する (保肥力の増加や土を柔らかくする)。 越冬させて早春の土壌浸食防止に適する。 ドリフトガードクロープとして利用できる。 越冬栽培でキタネグサレセンチュウを減らす。	○	◎			◎		○	○		◎	◎					○			○				◎
キタネグサレセンチュウを減らす。 秋播きコムギ前の休閒利用に適する。栽培期間が長く、多収。 ドリフトガードクロープとして利用できる。	○	◎			◎		○	○	◎	○	○				○	◎	◎	◎					◎
種子が小粒でスタンド形成が良好。 ドリフトガードクロープとして利用できる。		◎		◎	◎		○	○	◎	○	○				○	◎	◎	◎					◎
サツマイモネコフセンチュウ対抗植物。 クリーニングクロープは無施肥で栽培する。					◎		○	○	◎	○	○				○	◎	◎	◎					◎
遊休農地の地力向上に利用可能。休閒利用で粗大有機物確保に。		◎			◎		○	○	◎	○	○				○	◎	◎	◎					◎
直立性エンバク「品種とちゆたか」とヘアリーベッチ「まめ助」 との混播。 8月下旬播種でも可能なセット。 根粒菌により空中窒素を固定し、地力を増強。					○	◎	◎	○		○			◎	○					○	◎			
夏播きで多収なマメ科緑肥作物。根粒菌により空中窒素を固定し、 地力を増強。コムギや早出し作物後に播種できる。					○	◎	◎	○		◎			◎	○	◎				○	◎			
耐湿性と低温伸長性に優れる。根粒菌により空中窒素を固定し、 地力を増強。越冬する場合もあるので、しっかりと踏み込む。					○	◎	◎	○		◎			◎	○	◎				○	◎			
越冬性と耐湿性に優れる。根粒菌により空中窒素を固定し、地力 を増強。長期栽培で雑草抑制が期待できる。 播種期が遅れると越冬しない場合があるため注意。					◎		◎	○		◎			◎	○	◎			◎	○				◎
ダイズシストセンチュウ対抗植物。 根粒菌により空中窒素を固定し、地力を増強。 深紅の花が景観美化に適する(春播きのみ開花)。		◎			○		◎	○		◎			◎	○	◎				◎	○			
根粒菌により空中窒素を固定し、地力を増強。ダイズシストセン チュウ対抗植物。コムギ間作は適度に土壌水分があるうちに 播種する。ソバ間作の播種量は3kg/10a、施肥はソバに合わせる。		◎			○		◎	○		◎			◎	○	◎				◎	○			
辛みの成分含量が高いアブラナ科緑肥作物。着蕾～開花始の莖 葉部の多い時期にできるだけ細断してすき込む。ハウス等残肥 が多い場合は無施肥でも可。景観緑肥にはカカラシの方が良い。 テンサイ根腐病、ホウレンソウ萎凋病、コムギ立枯病の発病軽 減効果が期待できる。					○		○			○	◎				○				○	◎			○
8月上旬までにできるだけ播種を終える。 ハウス等残肥が多い場合は無施肥でも可。																							
生育旺盛で多収。テンサイの前作に適する(収量性を改善)。 鮮やかな黄色い花をつける。					◎					○	◎				○				○	◎			○
春播きで生育旺盛、被覆が早く雑草対策となる。きれいな紫色 の花が咲き、蜂花植物としても適する。花は8月まで楽しめる。 前作で栽培すると長ネギの生育が良好(都府県で実証)。					◎					◎	◎				○				◎	○			
ジャガイモシストセンチュウ対抗植物 (春播きの方が密度低減効果が高い)。					◎													◎		○			
景観利用だけでなく有機物補給にも。 パーティシリウム半身萎凋病の抵抗性に優れる。					○		◎			○	◎				○			◎	○				

2) アブラナ科野菜の根こぶ病発生圃場でのご使用は避けてください。 3) 海外持出禁止(農林水産大臣公示)。 4) 北海道緑肥作物等栽培指針(北海道農政部、2004年)を参考に作成